幽学の里で米作り交流事業

子どもたちは大はしゃぎ！魅力いっぱいの米作り

国指定史跡になっている大原幽学ゆかりの水田で、都市住民と交流を図ろうと毎年行われている米作り体験。その田植えが５月３日、４日に行われ、市内外から422人が参加しました。水田では到着した子どもたちが、恒例となっている「かすりの着物」に着替え「田植えガールズ」と呼ばれる地元の女性たちの指導の下、家族一緒に作業をする昔ながらの光景がありました。

子どもたちは「ぬるぬるするよー」と言いながらも終始笑顔。はしゃぎ過ぎてずぶ濡れになる子や泥だらけの子が……。中には「明日も連れてきて！」とねだる子もいました。

「親子の絆」を深める心温まる光景

「アメンボさーん待ってー」と走り出す。幽学の里には都会ではなかなか見られない生物がいっぱい！

もつカレーで復興旭

旭もつ部会（MO２）が第3位

手を休める暇もなく、テント内は大忙し

旭の特産物を使って旭をアピールしたいと、旭市商工会が昨年秋に立ち上げた「旭もつ部会（MO２）」。その第一弾メニューの“もつカレー”が５月７日、横須賀で行われたカレーフェスティバルで堂々の３位に選ばれました。復興中の旭市を元気にするため、自分たちのできることを、と出場を決意したMO２のメンバーたち。当日は11人が、雨のぱらつく中、行列を作るお客さんに650食の“もつカレー”を作りました。部会の代表は「第３位は名誉なこと。これをきっかけにもっと旭の“もつ”をアピールし『“もつ”＝（イコール）旭』となるようにしたい。旭の元気につなげたい」と力強く話していました。

旭市民陸上競技大会

新記録に向けて練習の成果を発揮！

第６回となる旭市民陸上競技大会が、5月8日に県総合スポーツセンター東総運動場陸上競技場で開催され、小学生から一般まで550人が参加しました。５月とは思えない強い日差しの中、入念にウォーミングアップした選手たちは、周りからの応援やアドバイスを受けて各種競技に臨んでいました。「常に自己ベストの更新を心掛けている。目指すは全国１位」と頼もしく話す選手もいました。

スタートの一瞬に備える選手たち

4/26 命がけの救出　人名救助の３人に消防感謝状

左１番目鈴木明さん、２番目向後利一郎さん、右から１番目海上六郎さん、ともに(飯岡)

３月11日の大津波の際に、逃げ遅れた女性を命がけで救助した３人に、市長から感謝状が贈られました。３人は街中が浸水する中、自らの危険を顧みず激流に飛び込み、協力して女性を救助しました。

5/13 椎名保さんが母校に絵画を寄贈

子どもたちに絵を贈る椎名保さん(左)

日本画家の椎名保さんが、母校の中央小で絵画「極光(オーロラ)」の寄贈と講演を行いました。絵が披露されると「おーっ」という児童の歓声が体育館に響きました。椎名さんは「悩んだりしたら、知性の光、創造性の光とも言われる、オーロラの絵を見てもらいたい。そしていい結果になったら……、そんな気持ちで描きました」と話しました。

5/14 青空の下で誓う

決意を新たにし、新しい級のスカーフを巻いてもらいます

発団30周年を迎えたガールスカウト千葉県第69団の、入団・フライアップ(進級)式が西宮神社で行われ、７人が入団、６人がフライアップしました。この日は「青空の下…」で始まる団歌同様、澄んだ青空の下で、それぞれが誓いの言葉や新たな決意を述べました。30年前、発団を記念して植えられたコブシの木が、その様子を見守っていました。

5/21 網戸スターズが２大会制覇で県大会へ！

２大会制覇を成し遂げた網戸スターズのメンバー

旭市スポーツ少年団春季・夏季野球大会が、それぞれ４月９日～16日、4月16日～23日にスポーツの森公園野球場などを会場に開催されました。市内11チームが参加する中、網戸スターズが見事2大会を制覇し、好成績を残した干潟メッツと共に県大会に出場しました。

干潟メッツが地域のごみ拾い

ごみ拾いで地域に恩返し

道路脇の草をかき分け、ごみを拾う子どもたち

少年野球チーム「干潟メッツ」の子どもたちや父兄など40人が４月29日、干潟駅から鎌数工業団地まで約4kmのごみ拾いをしました。

いつもチームを応援してくれる地元の人たちに、恩返しがしたい、と始まったこの取り組みは、今年で４年目。駅や公園、道路脇に落ちているごみを一生懸命に拾う子どもたちは、地域の人に「ご苦労さま」と声を掛けられると「ちわーす」と、少し照れながらも元気よくあいさつしていました。「お礼を言われると、とてもうれしい」「みんなで協力してやるからチームワークがよくなると思う」「これからも続けていきたい」。汗を拭いながら笑顔で話していました。

あさひ少年少女合唱団　第6回スプリングコンサート

心を打つ「子どもたちの歌声」

震災の影響により延期されていた合唱団のコンサートが、５月１日に東総文化会館で行われ、約60人の子どもたちが合唱などを披露しました。この日は、合唱団の創立20周年を記念し、東京藝術大学音楽学部に在籍する實川風(かおる)さん・飛鳥さん兄妹(新町)のピアノ演奏や、男声合唱団「グリーンドンキーズ」の歌声なども披露されました。また市に義援金を送るため、OGらが募金活動をする姿がありました。訪れた人は「すごい！　こんなに素晴らしい声を出すなんて。こんなときだからなのかな……、子どもたちの歌声が強く心に響きました」と話しました。

フィナーレは「あの素晴らしい愛をもう一度」を会場一体となって大合唱